

# コロナ禍と 乳がん検診

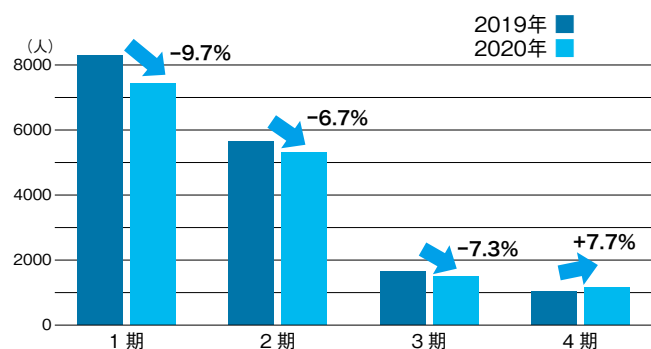


2020年は新型コロナの感染拡大により、乳がん検診をはじめとするがん検診や健康診断を受ける人が減少しました。2021年の検診受診率は回復傾向にありますが、がんが進行してから見つかるケースの増加が懸念されています。

## 早期で発見される人が大幅に減少

乳がん検診受診率低下に伴い乳がんと診断される人も減少し、日本対がん協会の調査では、2020年は2019年に比べ8.2%減少しました。早期で発見される割合も大幅に減っており、今後は進行してから発見される乳がんの増加が心配されています。

### 進行期別がん診断数の比較 ※全国105施設が回答



※公益財団法人日本対がん協会・がん関連3学会「新型コロナウイルス(COVID-19)対策WG」アンケート結果より

## 昨年、乳がん検診を受けなかった人は…

- 今年度の乳がん検診は必ず受診する (とくに40歳以上の人)

※2年に1回受けている人で、今年度は受けない年であっても受けるようしてください。

- すでに乳房にしこりや異常\*がある場合は乳がん検診を待たず、すぐに乳腺外科を受診する

\*乳房にえくぼやたれができる、左右の乳房の形が非対称になる、乳頭から血や分泌物が出るなど

乳がんは日本人女性の9人に1人がかかるといわれていますが、早期に発見できればほぼ100%治るんです。コロナ禍であっても乳がん検診は必ず受けるようにしましょう。



月に1回のセルフチェックも忘れずに。なお、セルフチェックをしていても、乳がん検診は必要です。



監修

大川 小児科&内科クリニック  
院長 大川 洋二

## 頭を打った

### まずはこんなことを確認

- すぐに泣いたか、目を開いていて意識はあるか
- 機嫌はいつも通りか
- 食欲はあるか
- 手足が動くか
- 頭のケガをしたところにへこみがないか



### 家庭でできる対処

こぶができたり打ったところを痛がるときは、水に濡らしたタオルや冷却剤で冷やします。出血がある場合は乾いたタオルで強く圧迫します。体をゆすったりせずに、数時間は安静にしたほうがよいでしょう。

脳内に出血があっても直後に症状が出ない場合もある

子どもの転倒や転落防止のために、日頃から、ベビーベッドの柵を上限まで上げる、ベッドやソファなどの上で遊ばせない、踏み台になりそうなものをベランダや窓の近くに置かないなどの対策をしましょう。子どもが頭を打ったときは、子どもの様子をよく見て適切に対応します。3歳以上では動きが活発でとくに注意が必要です。

ので、24時間ほどは慎重に様子を見て、気になる症状が出たときは、頭を打った状況と日時を伝えて医療機関を受診しましょう。

### こんなときは…救急車を！

- ・意識がない
- ・出血が止まらない
- ・手足が動かない
- ・けいれんしている
- ・何回も嘔吐する
- ・1.5m以上の高さから落ちた、交通事故などの重大な原因で頭を打った

### こんなときは…早急に受診

- ・打った部分がへこんでいる
- ・元気がない
- ・顔色が悪い
- ・呼吸が不規則、苦しそう
- ・ミルクの飲みが悪い

▶ 休日・夜間のトラブルや受診した方がよいのか迷ったら …… **子ども医療でんわ相談 #8000**

▶ 急患診療所に行くかどうかを知りたいときは …… **子どもの救急 <http://kodomo-qq.jp/>**